

地域における特徴的な取組の共有に係る掲載イメージ

姉妹提携都市との交流を活用したグローバル人材、国際理解の推進
(鹿追町)

○取組の概要

- ・カナダ・アルバータ州のストニプレイン町と 1985 年 8 月 26 日に姉妹提携を締結。以来、同じ北方圏の町として友好関係を築いている。
- ・姉妹提携後、短期の交換留学生を送り合うなど、多くの町民がカナダを訪れている。
- ・1987 年からは中・高校生を対象とした留学制度が設けられ、1996 年度からは、原則として毎年お互いの町から派遣し合い、一般の方の派遣も活発に実施。
- ・1996 年度からは鹿追高校の新入学生全員(現在は2年生全員)がストニプレイン町で約2週間のホームステイを実施し、日本文化の紹介や交流を図り、国際理解教育を推進。2020 年には姉妹提携 35 周年を迎えた。

○ポイント

- ・鹿追高校生短期留学派遣事業では、高校2年生全員が参加し、約2週間現地でのホームステイを実施。
(2024 年度は学生 49 名が参加、自己負担約3万円)
- ・2003 年から 15 年間にわたる文部科学省研究開発指定を受けて、小中高一貫の英語・国際理解教育をカリキュラム化(「カナダ学」等)
(カナダ学:週1時間、学年に応じて英語やカナダ文化を学習)
- ・ストニプレイン町民の来町を支援するため、滞在施設の整備や訪問費用の助成などを実施。
(2015 年度開始、これまで延べ 969 日受入)
- ・鹿追高校は、全国から留学や英語学習を希望する学生が入学。
(2025 年度は道外から 10 名、札幌から 10 名)

○今後の課題等

- ・町外からの学生受入拡大には、制度上の制約がある。
- ・高校卒業後の進路として、町内への定着が難しい。